

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ奈良		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 4日		2025年 1月 25日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 2名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性を活かした支援	特性や個人に合わせた教材、ツールの提案を行ったり、実際に試して頂くことでお子さんに応じた支援ができるように心掛けています。	教育や保育の実態を把握しながらさまざまな情報収集を行い、地域で連携を取っていけるように努めます。
2	検査等のツールを用いてアセスメントを行い評価、伝達ができる	主観にならないように評価バッテリーを使用しながら客観的な評価をしていくように努め支援しています。	さまざまなアセスメントがある中で、偏りのないように総合的に評価していくように努めます。
3	保護者が安心できる支援	保護者の方が不安や心配されていることなど共有させていただき安心感に繋がるように努めています。	今後も園や学校の先生の専門性を活かしながら、できる環境での支援を一緒に考えていけるように努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	回数が少ない	事業所において利用児を抱えながらのサービスを行う為、一人ひとりにおける時間が分散されてしまう状況です。	さまざまな福祉サービス若しくは医療サービスなど利用されている場合にはその施設での専門性や役割を明確化し連携していくことが大切であると感じます。
2	待機児童がいる。緊急性に対応できない	訪問に関しての要望はあるが全てに対応できていない状況です。	訪問において距離など効率化を図り支援していけるように努めます。
3	検査評価に時間がかかる	事業所で検査を実施する場合には、検査にもよりますが評価に時間を要します。	さまざまな検査ツールがあるので、その子のニーズに応じた検査バッテリーを活用し、負担なく進めていけるように努めます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ奈良
------	--------------------

公表日 2025年 3月 15日

利用児童数 2025年 1月 25日 回収数 4名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3	1	0	0		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4	0	0	0		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	0	0	0		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	0	0	0		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	4	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	0	0		
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	0	0	0		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4	0	0	0			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4	0	0	0	園での子どもの様子や、先生とのやりとりを詳しく教えて下さって助かりました。また、助言もいただきありがとうございます。	毎回、保育所等訪問支援後は保護者の方と共有を行っています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	0		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	0		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	1	0	0		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	0		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3	1	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	0	0	0		

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

リハビリ発達支援ルームUTキッズ奈良

公表日 2025年 3月 15日

利用児童数 2025年 1月 25日 回収数 2施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	0	0		
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	1	0	訪問回数が少なかつたため、判断しかねます。	回数は多くはありませんが、用途に応じた支援ができるように努めています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2	0	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	1	0		引き続き、先生方と情報を共有しながら研鑽に努めています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	1	0		その子がその子らしく生活できるように研鑽に努めています。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
園の行事や現状等を考慮し、日時調整を柔軟に対応して下さるのありがたいです。					学校や園の状況に合わせながら日時調整を行い、先生方の負担が大きくなるように訪問させていただくように努めます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ奈良		公表日		2025年 3月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環 境 ・ 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		訪問先と情報を共有しながら、子どものニーズに合わせて提案させていただいています。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員配置については、基準に基づいて支援を行っています。		
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎月のミーティングに限らず、業務内容の意見の共有や年度初め、半年ごとに自己目標に対して計画、振り返りを行い業務改善に努めています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の方の意見等は職員間で共有し業務改善に努めています。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的なミーティングを実施し情報共有や改善に向けて話を行っています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者による外部評価は行っていません。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社外研修に関しては告知がなされたり、社内研修なども積極的に行われています。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		感覚統合療法に基づいた考えを用いてアセスメントを行い、J-SIRやお子様に応じてJ-PAN検査、他各種検査を活用することがあります。また日々の療育に加え学校や自宅の様子を保護者の方から聞き取ったり、検査結果を参考にしながら子どもの様子を確認しています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもの様子や課題などを職員間で共有、検討し計画書作成を行っています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		訪問時に担当者の先生から該当児に対しての思いや意向をお聞きした上で目標設定を行い計画書作成を行っています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援実施前には計画書や他職員の記録を確認し、保護者様・利用児のニーズに沿った支援を心がけています。		
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		感覚統合療法に基づいた考えを用いてアセスメントを行い、J-SIRやお子様に応じてJ-PAN検査、他各種検査を活用することがあります。また日々の療育に加え学校や自宅の様子を保護者の方から聞き取ったり、検査結果を参考にしながら子どもの様子を確認しています。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って計画書を作成し個々のニーズに合わせた支援にあたるようにしています。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書や他職員の記録を確認し、保護者様・利用児のニーズに沿った支援を心がけています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		療育前には使用する道具や活動内容などを共有しています。また、複数の職員で療育に入る際にはそれぞれの役割や目的を共有しています。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問内容の報告とともに今後に向けて支援方法の検討、共有をしています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の先生と連携をとりながら先生の思いを大切に心がけ支援を行っています。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		記録に関してはPDCAサイクルに基づき利用時の様子、活動内容、評価などを記録し検証、改善に繋がっています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを実施し、その時々のお子様の状態を把握し保護者の方のニーズもお聞きした上で見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		必要に応じて担当者会議、関係機関との会議についても児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		利用児の関係機関として連携して支援の方針を会議するなどの場合があります。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて情報共有を行っています。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部研修の案内等、積極的な研修への呼びかけを行い参加を行っています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		奈良市連絡協議会へ参加させていただいています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問の内容を振り返るだけでなく、日々の様子や困り手を共有していただいています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者勉強会、ペアレントトレーニング、おしゃべりCaféを実施し保護者同士の繋がりがもてる機会を設けるとともに情報提供を行っています。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		施設ご利用にあたり契約書類の説明を行い、内容に変更があった場合にはその都度、説明をさせていただいています。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		訪問にあたってパンフレットや書類を用いて説明し共通理解のもと支援を開始するように心掛けています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		半年ごとに計画書の見直しを行い、保護者の方やお子さまのニーズを聞き取り計画書の作成を行っています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		作成後は支援内容を説明させていただき、同意を得たうえで支援を行っています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問後のフィードバックだけでなく、必要に応じて今後の進路や日々の困りごとに関して面談を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		今年度より保護者の方同士の繋がりができる場としておしゃべりCaféを実施し支援しています。また、定期的にペアレントトレーニングや保護者勉強会を開催し、保護者同士で繋がりを持っていただけるように取り組んでいます。イベントについては兄弟の方も参加していただけるように企画しています。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れに対しては職員間で共有し迅速に対応するように心掛けています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPのブログやインスタグラムのSNSを用いて、事業所での取り組みなど定期的に発信しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取扱いについては十分に留意し管理できるように努めています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		訪問の報告を行う際は、別室でお話するなど、必要に応じて配慮させていただいています。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先からの要望があれば、その都度対応させていただくように努めています。	

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		情報共有、共通理解、今後の支援について話す時間を作っていただいています。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後に保護者の方と対面で内容等の報告を行い今後に向けての話や共有を行い共通理解の元、支援を進めています。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては十分に留意し管理できるように努めています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問時以外にも必要に応じて連携がとれるようにしています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各対応マニュアルの策定をし年に1回の研修や定期的な訓練を行い、職員間で周知しています。また訓練を実施した際には待合室に掲示し保護者の方にも周知しています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎年安全管理委員会の基、身体拘束、虐待防止、感染症についての研修を実施し、イベント等で飲食を伴う機会があれば保護者の方と情報を共有しながら進めています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		インシデント、アクシデントレポートを活用し安全管理委員会へ報告、職員間で共有を行い再発防止策の検討を行っています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月の安全管理委員会への参加、虐待防止の研修を年1回実施し事業所での風通しの良い環境を心がけ対応に努めています。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束に関しては年に1回研修を行い、事例を挙げながら職員全体で確認を行っています。保護者の方へは契約時に説明を行っています。	